

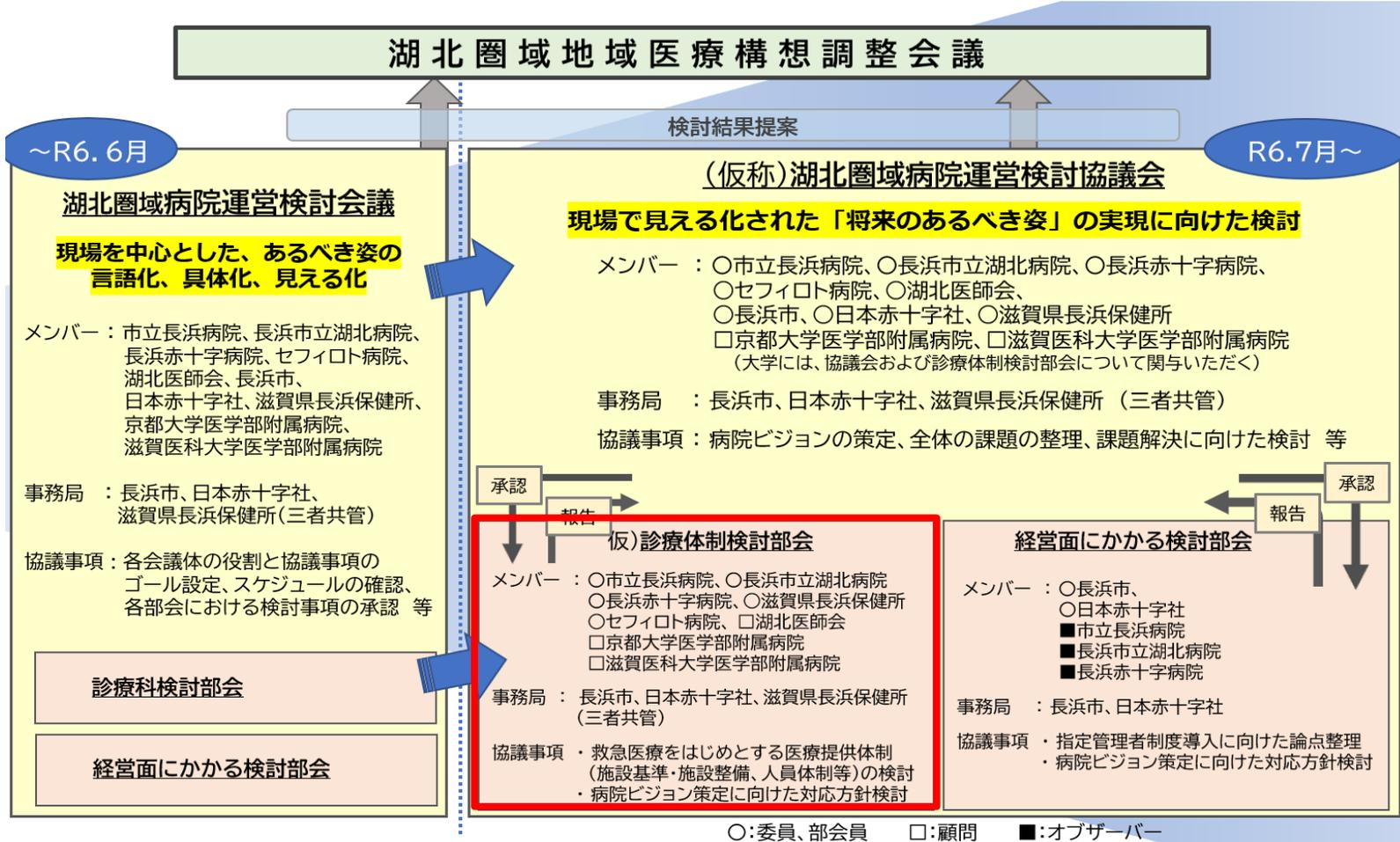
第1回診療体制検討部会
会議用資料

2024年8月20日

協議体制について

協議体制について

6月までと同様「診療体制検討部会」「経営面にかかる検討部会」での検討結果については、適宜「湖北圏域病院運営検討協議会」に報告し承認を受ける運営を想定しています。また7月からの検討において診療体制検討部会では、「病院ビジョン」に記載する3病院の再編後の医療提供体制の検討や、「病院ビジョン」達成に向けた対応方針の検討を実施します



※ 現在の湖北圏域全体の医療提供体制を堅持しつつ、検討を進めていきます。さらに再編することにより新たな医療を提供できるような体制づくりを目指します。

※ 《長浜市病院再編方針》に基づいて、検討を進めていきます。

2024. 8. 20

6月までの検討内容振り返りと7月からの目標設定

「診療科再編」の定義

6月までの診療科検討部会では、検討の方向性を明確にするために、「湖北圏域の医療をさらに充実させるための、4病院のあるべき姿、及び、その実現に向けた課題整理と解決に向けた取り組み」が部会で検討する「診療科再編」として定義されました。7月以降は、診療体制検討部会において、この検討をさらに進め、病院ビジョンを策定することを想定しています。

第2回湖北圏域病院運営検討会議診療科検討部会

診療科検討部会での検討の考え方について(修正案)

資料1

部会で検討する診療科再編とは、

「湖北圏域の4病院が中心となり、大学医局と連携しながら、指定管理者制度を導入した際に、湖北圏域の医療がさらに充実するよう、4病院が担う役割に合わせて、標榜する診療科ごとの持つべき機能を検討し、想定される課題を整理し、解決するよう取り組んでいくこと」

項目	定義	定義の意図
何を What	■ 4病院が担う役割に合わせて、標榜する診療科ごとの持つべき機能	■ 4病院の医療機能を再構築するため
だれが Who	■ 湖北圏域の4病院	■ 検討主体を明確にするため
いつ When	■ 指定管理者制度を導入した際	■ 4病院の医療機能を再構築するためには、指定管理者制度の導入が必要なため
どこで Where	■ 診療科検討部会(省略)	■ 当検討部会で検討する内容であるため
なぜ Why	■ 湖北圏域の医療がさらに充実するよう	■ 市民にとって、医療従事者にとって望ましいことであることを明確にするため
どのように How	■ 想定される課題を整理 ■ 想定される課題の解決策 ■ 大学医局との連携	■ ゴールに向かう道筋を明確にするため

湖北圏域の医療機能の将来のあるべき姿について（1/2）

「湖北圏域病院運営検討会議診療科検討部会報告書」にて4病院の将来のあるべき姿として、A病院の所在地を明確にしたうえで、4病院の役割や関係者とのかかわり方が整理され、3病院の運営に関しては、指定管理者制度により日本赤十字社が運営すると整理されました。7月からはさらに検討を進め、再編後の3病院の診療体制や必要となる施設設備等を検討する想定です。

第4回湖北圏域病院運営検討会議診療科検討部会

湖北圏域の医療機能の将来のあるべき姿について①

関係者から期待される役割の理念
(病床機能、5疾病6事業および在宅医療について)

	A(大戌亥町)	B(宮前町)	長浜市立湖北病院	セフィロト病院
設置者	長浜市	日本赤十字社	長浜市	社会福祉法人青祥会
指定管理者 (運営者)	日本赤十字社	(日本赤十字社)	日本赤十字社	(社会福祉法人青祥会)
地域医療を見据えた 各病院の役割	高度急性期、急性期医療を担う。 医師等の医療スタッフ養成のための 研修機能を備える。 精神科医療についても、救急の役割 を担う。	回復期、慢性期、一部急性期医療を 担う。 地域包括ケアシステムを支えると ともに、後方連携によりA病院を支 える。	回復期、慢性期、一部急性期医療を 担う。 へき地医療拠点病院。 医療、介護、福祉サービスを総合的 一体的に提供する地域包括ケアシ ステムの拠点病院。 「総合診療医」養成のための研修機 能を備える。	A病院とともに精神科救急を 担う。また、主に慢性期の精 神科医療を担い、A病院や関 連機関と連携し、精神科医療 における地域包括ケアシステ ム構築を支える。
地域住民との かかわり	大学病院と同等の高度な医療を提供する ・高度急性期、急性期に特化すること により高度な医療を提供 ・5疾病6事業への対応	高度な医療を提供するA病院と、地 域の医療機関や介護施設、自宅等 をつなぐハブとしての医療を提供 する ・高度急性期病院で治療後の患者 に集中的なりハビリを提供し、早期 の在宅復帰を可能とする ・高齢化の進展により高まると想定 される療養及び在宅医療の提供	北部地域において軽度な急性期から 回復期、慢性期までの医療を提供 する ・長浜市北部地域に、安心をもたら す地域医療の要となる ・急性期、回復期、慢性期のすべて に対応する「ケアミックス病院（地 域密着型病院）」	A病院と、行政、地域住民、各 種団体等をつなぐ精神科医 療のハブとしての医療を提供 する ・認知症疾患医療センターに て、認知症患者とその家族が、 住み慣れた地域で安心して 生活できるよう支援する
病院職員との かかわり		・病院職員が安心して働ける職場環境の提供 ・高度急性期～慢性期・在宅医療・介護を通じた研修フィールドの提供		運営体制に変更なく、従前同 様のかかわり
大学医局との かかわり	・指定管理者制度導入による一体運営によって、診療科を再編し、医師の派遣の集約化・効率化に貢献 ・高度急性期～慢性期・在宅医療・介護を通じた研修フィールドの提供	急性期病院と連携した高度なりハ ビリの研修フィールドの提供	へき地における総合診療の研修フ ィールドの提供	運営体制に変更なく、従前同 様のかかわり
自治体との かかわり	・今まで同様全体的な役割での医療提供(三次救急、災害拠点病院(原子力災害含む)、精神科救急など) ・診療科再編及び民間手法の導入による効率的な経営により、持続可能な医療を提供する			・従前同様全体的な役割での 医療提供(認知症医療センタ ー、精神科輪番など)

出所：湖北圏域病院運営検討会議診療科検討部会報告書

湖北圏域の医療機能の将来のあるべき姿について（2/2）

第4回湖北圏域病院運営検討会議診療科検討部会

湖北圏域の医療機能の将来のあるべき姿について②

関係者から期待される役割の理念
(入院、外来、その他について)

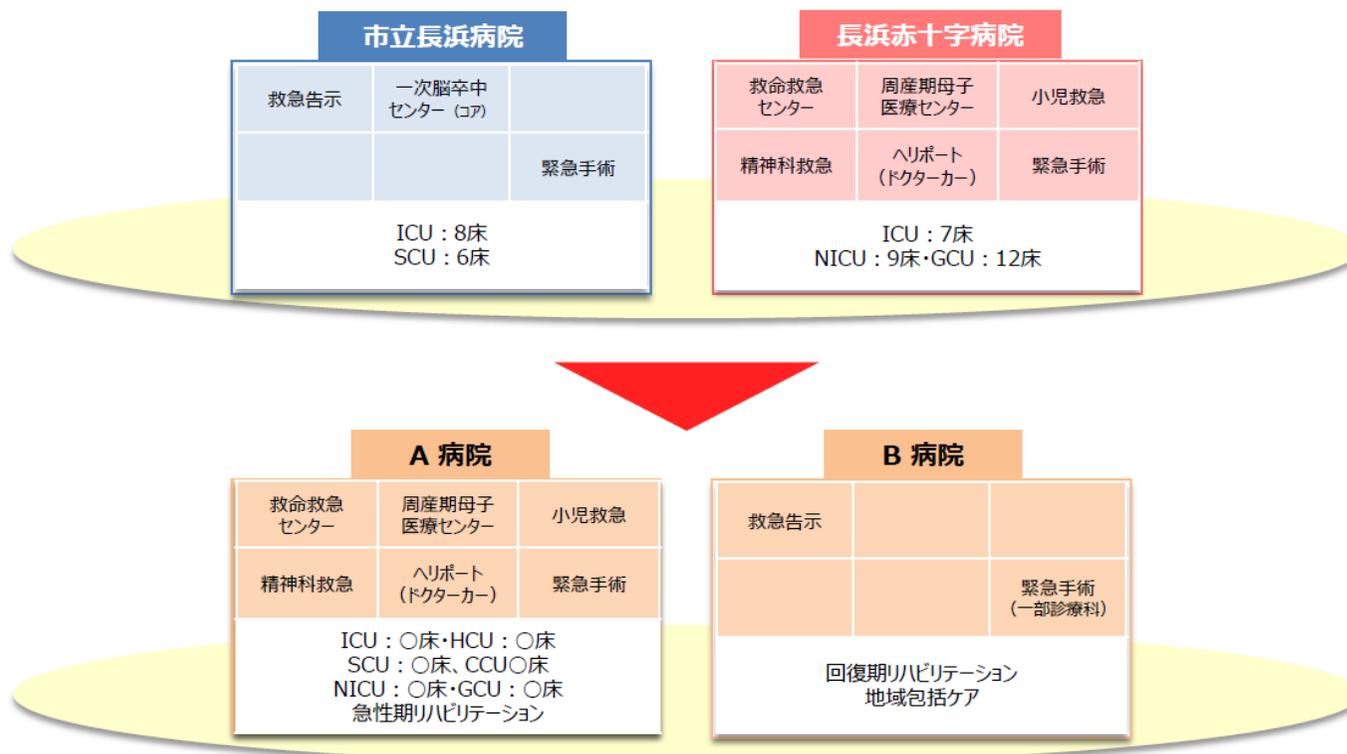
		A(大戌亥町)	B(宮前町)	長浜市立湖北病院	セフィロト病院	
地域住民との かかわり	具体的な 医療機能	救命救急 ICU・HCU、SCU、CCU、 NICU・GCU 一般(急性期) 小児 産科 精神 感染症	回復期リハビリテーション病棟 地域包括ケア病棟 一般(急性期、回復期) 療養 緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟 一般(急性期、回復期) 療養	精神一般 精神療養 認知症治療	
	外来	外来化学療法 透析 ヘリポート ドクターカー	外来化学療法 透析	外来化学療法 透析	認知症疾患 医療センター	
	休日・夜間	24時間対応 (救命救急センター)	24時間対応 (救急告示病院)	24時間対応 (救急告示病院)	精神科輪番	
病院職員との かかわり	労務管理	・勤怠管理または勤怠システムの統一を行い、客観的な記録から労働時間を適正に管理する ・休日、勤務間インターバルの方針と運用ルールを統一し、運用を徹底する			従前同等	
	職場環境	・業務を円滑に進めるためのDX推進等の方針を統一し、必要設備を導入する ・他科、他職種との協力体制を強化し、特定の診療科や特定の職種への業務負荷集中を抑え、業務負荷軽減を図る ・患者の治療方針について、経験や職種の垣根なく自由に提案できる環境とする			精神科領域における 連携・協力	
	教育・育成	・医師の専門性やキャリア開発への配慮、支援を行う ・その他医療職の積極的なキャリア開発のため、院内外の研修参加・資格取得の支援を行う ・日本赤十字社の研修プログラムの活用			精神科領域における 連携・協力	
大学医局との かかわり	医師負担	医師の働き方改革 における特例水準	一部診療科 B水準 (将来的には A水準)	A水準	A水準	A水準
	研修	主な学会認定制度 に基づく研修教育 施設	〇〇学会専門医制度認定施設 〇〇学会認定施設	〇〇学会専門医制度認定施設 〇〇学会認定施設	〇〇学会専門医制度認定施設	従前同様
		指導体制	臨床経験豊富な指導医による指導体制			従前同様
自治体との かかわり	運営	指定管理者制度により日本赤十字社が 3病院一体の効率的な病院運営を行う			従前同様	
	湖北医療圏の課題への対応	・高度急性期、急性期の再編	・回復期リハビリテーションの 再編と充実 ・慢性期の区域内完結率向上	・慢性期の区域内完結率向上 ・へき地における医療機能の 維持	・慢性期の区域内完結 率向上	

出所：湖北圏域病院運営検討会議診療科検討部会報告書

再編による救急医療提供体制について

再編後は高度急性期機能を担うA病院に救急機能を概ね集約する一方で、B病院においても救急告示病院として一定程度救急機能を残す方針が示されました。7月からは引き続き再編後の救急医療提供体制を検討するとともに、体制構築のための人員及び施設設備についての検討、並びに、再編完了までの期間における救急医療提供体制についても、検討することを想定しています。

■ 再編による救急医療提供体制のイメージ



A病院における救命救急センター整備について

A病院の救命救急センターの整備期間について、「着手」から「完工」まで4年程度必要との見込みが示されました。7月からは、3病院において新たに必要となる施設設備の検討を実施し、当該検討内容を踏まえて、施設整備スケジュールを策定することを想定しています。スケジュール策定にあたっては、診療への影響を最低限に抑えることを考慮して検討を進めます。

資料2

A病院救命救急センター整備 工程案

- 「着手」から「完工」まで4年程度を要する見込。
- 「着手（N年度）」の前後に、指定管理制度導入の合意形成、地域医療構想調整会議での合意、A病院の増床の国承認等が必要。
- 下図の期間において、新たな救命救急センターの円滑な運用開始を想定した、救急体制のあり方や諸準備等に係る検討が必要と思われる。

No.	工程	年度			
		N	N+1	N+2	N+3
1	病院事業中期経営計画改定	着手 改定			
2	特別交付税措置手続き	基本設計・実施設計・建設工事の各段階における申請・報告等手続き			
3	施設整備（基本設計）		入札 設計完了		
4	施設整備（実施設計）			入札 設計完了	
5	施設整備（工事）				入札 完工

※この内容をもとに、今後関係者で協議していきます。

出所：第4回診療科検討部会資料（資料2_A病院救命救急センター整備工程案）

将来のあるべき姿に向けた課題の整理について

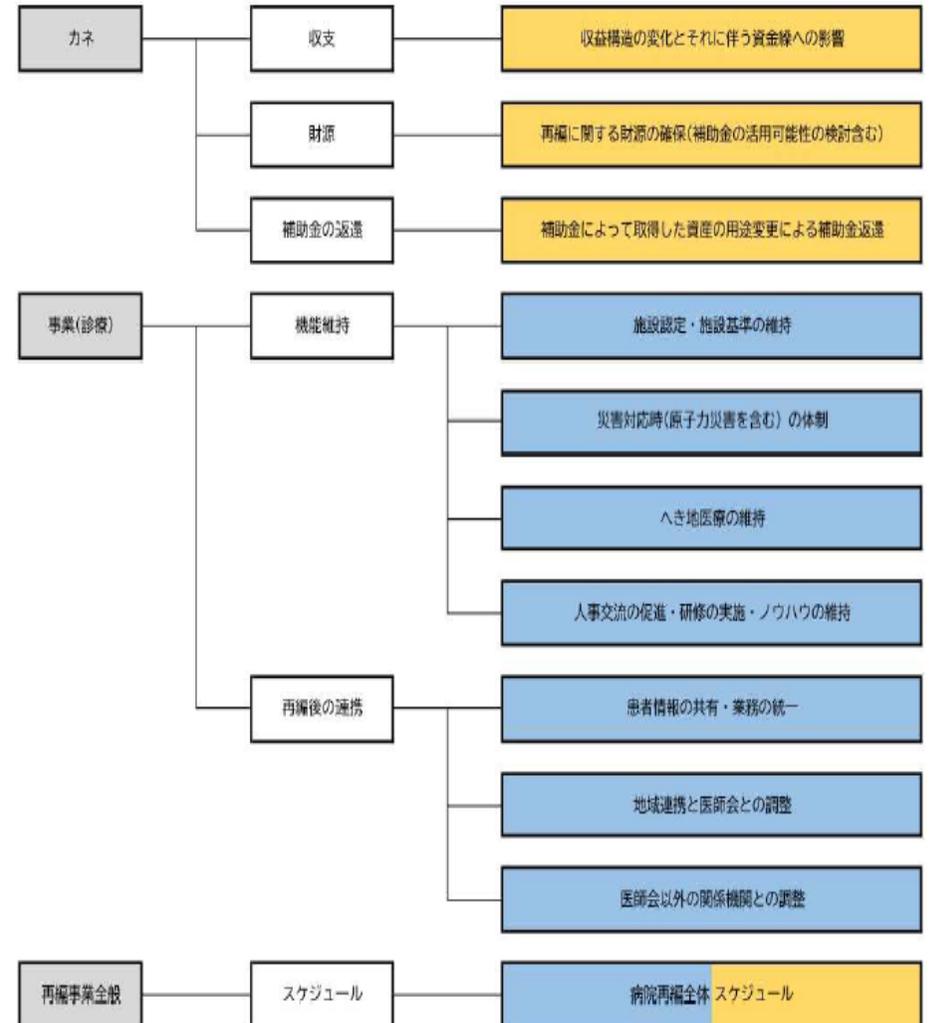
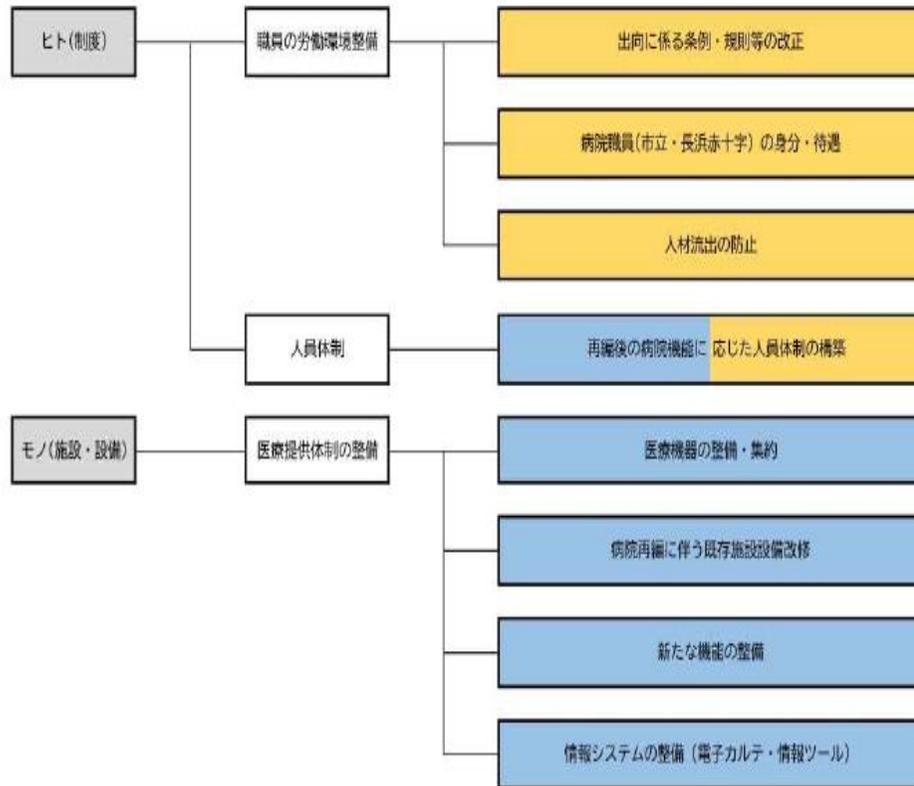
将来のあるべき姿に向けた課題が示されました。7月からは当該課題をベースに今年度中に検討する項目と、来年度以降に検討する項目に区分したうえで、今年度中に検討する項目については、7月からの議論に反映させる想定です。

将来のあるべき姿に向けた課題の整理について

※青色セルの項目は診療科検討部会において検討

※黄色セルの項目は経営面にかかる検討部会において検討

○議論の視点



出所：湖北圏域病院運営検討会議診療科検討部会報告書

「病院ビジョン」について

7月からの検討においては、まずは「病院ビジョン」を策定することを想定しています。「病院ビジョン」については、再編完了後の3病院のあるべき姿を示すことを想定しています。再編完了までの過渡期の医療提供体制等については、「病院ビジョン」が完成し、3病院のあるべき姿が確定した後に検討する予定です。

「病院ビジョン」とは（案）

「病院ビジョン」とは、「湖北圏域において4病院が担ってきた役割を踏まえ、長浜市立2病院と長浜赤十字病院を再編するにあたり、再編後の3病院のあるべき姿を示す基本構想であり、関係者の意思決定に資することを目的として策定するもの」である。

用語	定義
関係者	<ul style="list-style-type: none">■ 長浜市（市立2病院含む）■ 日本赤十字社（長浜赤十字病院含む）■ 滋賀県■ 市民（市議会）■ 大学■ 湖北医師会■ セフィロト病院 <p>※上記以外に、地域の歯科医師会、薬剤師会、看護協会、病院関係者、介護事業者等が含まれることを想定する。</p>
意思決定に資する	関係者が今後の湖北圏域の医療に関する意思決定をする際に、判断の拠り所となり得る。

「病院ビジョン」について

「病院ビジョン」のイメージについて認識を共有するために、記載項目と記載の方向性の案を作成しました。6月までの検討において、再編の課題として挙げられていた項目との関連についても整理し、課題への対応に漏れが生じないように検討を進めることを想定しています。

「病院ビジョン」記載項目及び記載の方向性（案）

大項目	小項目	記載の方向性
本病院ビジョンの位置づけ		■ 現状の湖北圏域4病院の役割や医療機能を踏まえて、湖北圏域の医療をさらに充実させるため、長浜市立2病院及び長浜赤十字病院が再編後のABC病院として果たすべき役割を示す基本構想であることを記載する。
湖北圏域の現状分析	湖北圏域の医療動向	■ 湖北圏域における将来人口推計や入院・外来需要予測、救急搬送実績等を記載する。
	3病院の現状	■ 病院概要、診療実績、施設設備の状況、経営状況等を記載する。
3病院のめざす姿	医療機能	■ 滋賀県保健医療計画及び地域医療構想の内容や病院再編に関する全国的な動向も踏まえて、再編の必要性や市民にとってのメリットを記載する。 ■ 湖北圏域の地域包括ケアシステムの中での3病院の位置づけ等を踏まえ、再編後3病院がめざす医療機能を記載する。 ■ 3病院の医療機能の検討にあたって、保健医療計画及び地域医療構想との整合性をとりながら検討を進める。
	高度化する連携のあり方	■ 機能再編や病院運営の一体化を通じた3病院の連携高度化による医療への影響（急性期患者に対する早期のリハビリ実施による在院日数の短縮化等）、及び、患者への影響（早期の社会復帰等）について記載する。
	病床数	■ 再編後の3病院の医療機能、及び、需要予測をもとに想定される病床数を記載する。
	診療科	■ 再編後の3病院の医療機能をもとに想定される標榜診療科を記載する。
	5疾病6事業	■ 地域包括ケアシステムの視点も踏まえて、5疾病（がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）6事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療・新興感染症）、及び、在宅医療への3病院のかかわり方を記載する。
	医療従事者の確保	■ 人員体制の整備方針を記載する。また、医療従事者確保の観点から、医療従事者を惹きつける病院となるための施策（人材交流・3病院それぞれの医療機能を活かした研修拠点化など）等を記載する。
	再編スケジュール	■ 病院ビジョン策定段階で想定される再編スケジュールを記載する。
施設等の整備	整備方針	■ 施設等の整備に関する基本的な方針や、想定される整備手法を記載する。
	3病院の施設設備	■ 救急機能や災害対応機能等、再編後の3病院のめざす姿をもとに、必要となる施設設備等を記載する。
	事業費（概算）	■ 3病院に必要な施設設備等をもとに、直近の建設単価等を加味して算定した事業費の概算を記載する。
	整備スケジュール	■ 3病院の施設設備の新設、改修内容等を考慮して、病院ビジョン策定段階で想定される整備スケジュールを記載する。
収支シミュレーション		■ 「現状推移パターン」と「3病院の再編パターン（再編完了後から10年程度）」の収支シミュレーション結果を記載する。

4病院の役割と医療機能の整理

湖北圏域の医療機能の将来のあるべき姿の検討の方向性について（1/2）

4病院の将来のあるべき姿については、6月までの検討にて整理いただいた内容をベースに検討をすすめることを想定しています。今後は診療実績に関するデータや将来患者推計等をもとに、病院ごとに担う5疾病6事業に関する役割や、診療科単位での役割等の検討を進めることを想定しています。

第4回湖北圏域病院運営検討会議診療科検討部会

湖北圏域の医療機能の将来のあるべき姿について①

関係者から期待される役割の理念
(病床機能、5疾病6事業および在宅医療について)

	A(大茂亥町)	B(宮前町)	長浜市立湖北病院	セフィロト病院
設置者	長浜市	日本赤十字社	長浜市	社会福祉法人青祥会
指定管理者 (運営者)	日本赤十字社	(日本赤十字社)	日本赤十字社	(社会福祉法人青祥会)
地域医療を見据えた 各病院の役割	高度急性期、急性期医療を担う。 医師等の医療スタッフ養成のための研修機能を備える。 精神科医療についても、救急の役割を担う。	回復期、慢性期、一部急性期医療を担う。 地域包括ケアシステムを支えるとともに、後方連携によりA病院を支える。	回復期、慢性期、一部急性期医療を担う。 へき地医療拠点病院。 医療、介護、福祉サービスを総合的に提供する地域包括ケアシステムの拠点病院。 「総合診療医」養成のための研修機能を備える。	A病院とともに精神科救急を担う。また、主に慢性期の精神科医療を担い、A病院や関連機関と連携し、精神科医療における地域包括ケアシステム構築を支える。
地域住民との かかわり	大学病院と同等の高度な医療を提供する ・高度急性期、急性期に特化することでより高度な医療を提供 ・5疾病6事業への対応	高度な医療を提供するA病院と、地域の医療機関や介護施設、自宅等をつなぐハブとしての医療を提供する ・高度急性期病院で治療後の患者に集中的なりハビリを提供し、早期の在宅復帰を可能とする ・高齢化の進展により高まると想定される療養及び在宅医療の提供	北部地域において軽度な急性期から回復期、慢性期までの医療を提供する ・長浜市北部地域に、安心をもたらす地域医療の要となる ・急性期、回復期、慢性期のすべてに対応する「ケアミックス病院（地域密着型病院）」	A病院と、行政、地域住民、各種団体等をつなぐ精神科医療のハブとしての医療を提供する ・認知症疾患医療センターにて、認知症患者とその家族が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する
病院職員との かかわり		・病院職員が安心して働ける職場環境の提供 ・高度急性期～慢性期・在宅医療・介護を通じた研修フィールドの提供		運営体制に変更なく、従前同様のかかわり
大学医局との かかわり	・指定管理者制度導入による一体運営によって、診療科を再編し、医師の派遣の集約化・効率化に貢献 ・高度急性期～慢性期・在宅医療・介護を通じた研修フィールドの提供	急性期病院と連携した高度なりハビリの研修フィールドの提供	へき地における総合診療の研修フィールドの提供	運営体制に変更なく、従前同様のかかわり
自治体との かかわり	・今まで同様全県的な役割での医療提供(三次救急、災害拠点病院(原子力災害含む)、精神科救急など) ・診療科再編及び民間手法の導入による効率的な経営により、持続可能な医療を提供する			・従前同様全県的な役割での医療提供(認知症医療センター、精神科輪番など)

出所：湖北圏域病院運営検討会議診療科検討部会報告書

湖北圏域の医療機能の将来のあるべき姿の検討の方向性について（2/2）

第4回湖北圏域病院運営検討会議診療科検討部会

湖北圏域の医療機能の将来のあるべき姿について②

関係者から期待される役割の理念
(入院、外来、その他について)

		A(大戌亥町)	B(宮前町)	長浜市立湖北病院	セフィロト病院	
地域住民との かかわり	具体的な 医療機能	入院(病床)	救命救急 ICU・HCU、SCU、CCU、 NICU・GCU 一般(急性期) 小児 産科 精神 感染症	回復期リハビリテーション病棟 地域包括ケア病棟 一般(急性期、回復期) 療養 緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟 一般(急性期、回復期) 療養	精神一般 精神療養 認知症治療
	外来	外来化学療法 透析 ヘリポート ドクターカー	外来化学療法 透析	外来化学療法 透析	認知症疾患 医療センター	
	休日・夜間	24時間対応 (救命救急センター)	24時間対応 (救急告示病院)	24時間対応 (救急告示病院)	精神科輪番	
病院職員との かかわり	労務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・勤怠管理または勤怠システムの統一を行い、客観的な記録から労働時間を適正に管理する ・休日、勤務間インターバルの方針と運用ルールを統一し、運用を徹底する 				従前同等
	職場環境	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を円滑に進めるためのDX推進等の方針を統一し、必要設備を導入する ・他科、他職種との協力体制を強化し、特定の診療科や特定の職種への業務負荷集中を抑え、業務負荷軽減を図る ・患者の治療方針について、経験や職種の垣根なく自由に提案できる環境とする 				精神科領域における 連携・協力
	教育・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の専門性やキャリア開発への配慮、支援を行う ・その他医療職の積極的なキャリア開発のため、院内外の研修参加・資格取得の支援を行う ・日本赤十字社の研修プログラムの活用 				精神科領域における 連携・協力
大学医局との かかわり	医師負担	医師の働き方改革 における特例水準	一部診療科 B水準 (将来的には A水準)	A水準	A水準	A水準
	研修	主な学会認定制度 に基づく研修教育 施設	〇〇学会専門医制度認定施設 〇〇学会認定施設	〇〇学会専門医制度認定施設 〇〇学会認定施設	〇〇学会専門医制度認定施設	従前同様
		指導体制	臨床経験豊富な指導医による指導体制			
自治体との かかわり	運営	指定管理者制度により日本赤十字社が 3病院一体の効率的な病院運営を行う				従前同様
	湖北医療圏の課題への対応	・高度急性期、急性期の再編	・回復期リハビリテーションの 再編と充実 ・慢性期の区域内完結率向上	・慢性期の区域内完結率向上 ・へき地における医療機能の 維持	・慢性期の区域内完結率向上	・慢性期の区域内完結率向上

出所：湖北圏域病院運営検討会議診療科検討部会報告書

